

経営比較分析表（令和2年度決算）

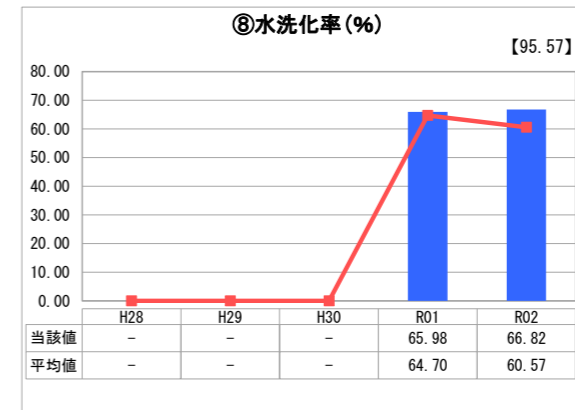
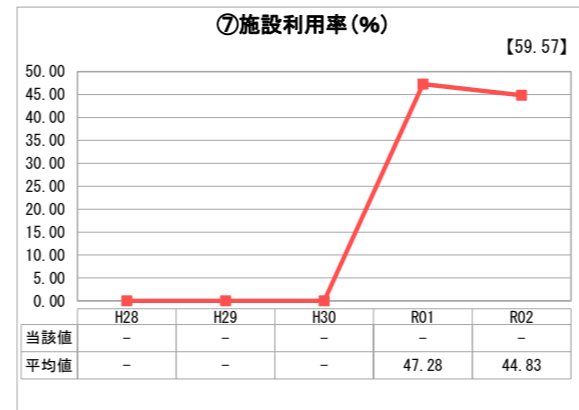
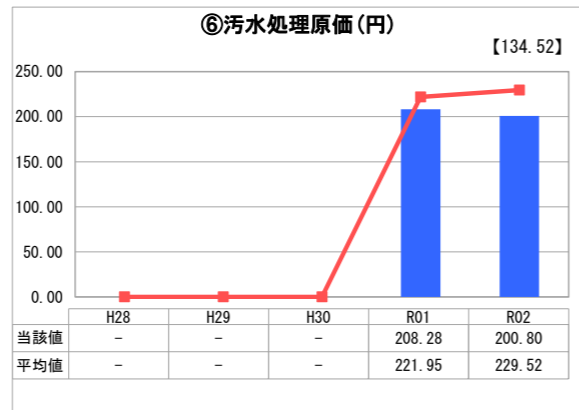
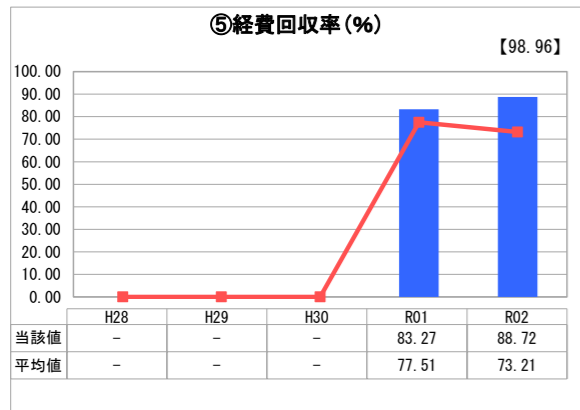
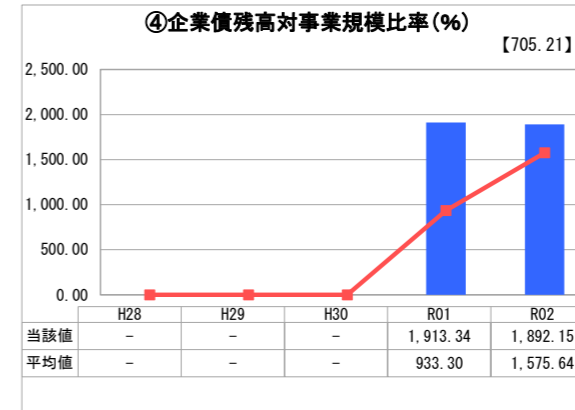
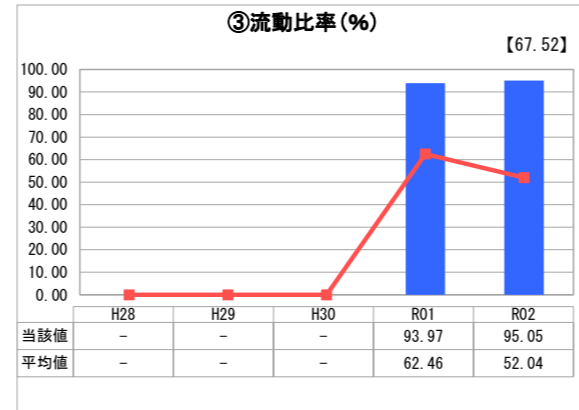
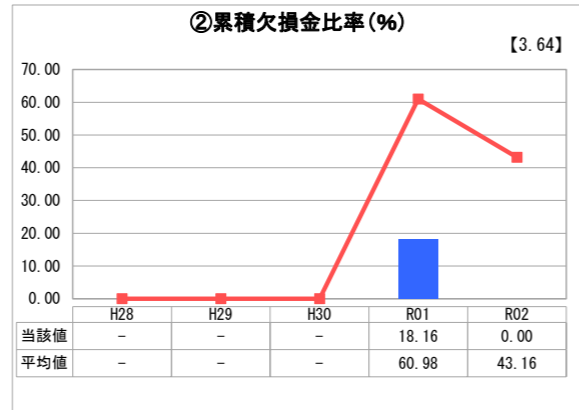
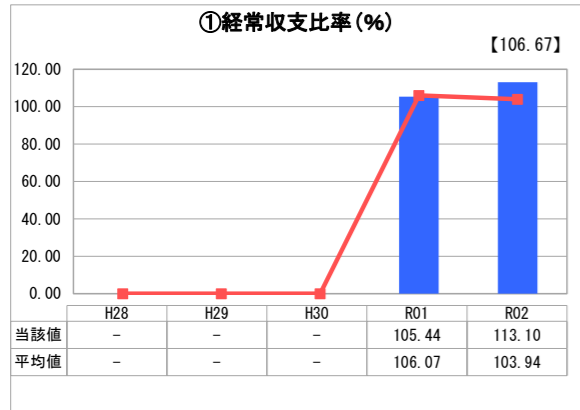
福岡県 広川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	43.54	44.71	86.80	3,920

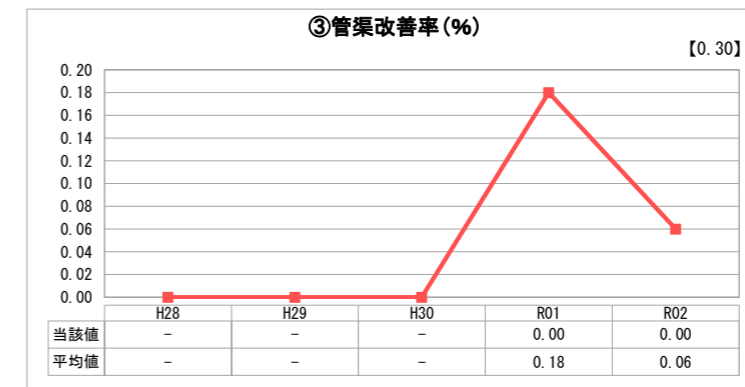
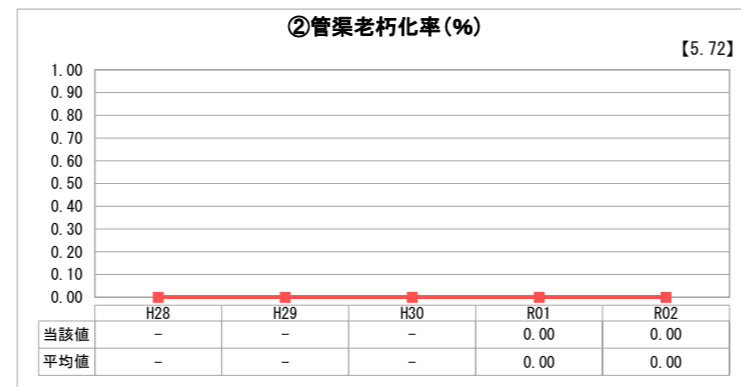
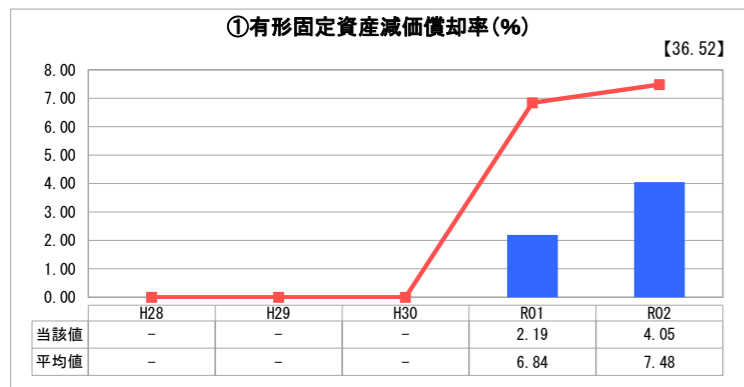
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,553	37.94	515.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,748	3.04	2,877.63

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度より公営企業会計を適用しています。当町の下水道事業については、矢部川流域公共下水道として事業を行っており、関連市町の公共下水道事業とあわせて現在区域を拡大中です。区域の拡大に伴い、企業債残高が年々増加しており、④企業債残高対事業規模比率が類似団体平均より高くなっています。事業開始から年数が経過していないため、⑧水洗化率は約67%と低い数値となっています。また、⑤経費回収率が約88%、⑥汚水処理原価が約200円/m³となっており、使用料収入で回収すべき経費を賄っていない状況です。今後は、水洗化率向上および経費回収率の改善に向けて加入促進を行い、使用料収入の増加を図っていきます。

2. 老朽化の状況について

当町の下水道事業につきましては、平成22年3月に供用開始し、現在も区域を拡大しております。そのため、耐用年数を迎えるまでは相当の期間があります。その間に、将来に向けてストックマネジメント計画を策定し、随時点検および管理をしていく必要があります。

全体総括

長期的な事業運営を安定化させるため、現在全体計画の見直しを行っています。今後も、効率性・経済性を定期的に再検証し、住環境ニーズの変化に合わせた計画策定を行っていきます。また、既供用開始区域、拡大区域内の更なる加入促進を行います。そして、各指標を改善し安定した経営にしていくために、水洗化率を増加させ使用料収入の増、汚水処理単価の減減ができるよう取り組んでいきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。